

子どもの豊かな感性・思いやり・協調性を育む 自然とのふれあいを大切にする



## 日程及び主な滞在都市

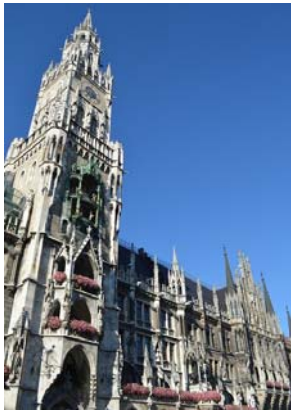
### 日程概略

日次	月日曜	発着・滞在地	時刻	交通機関	摘要	食事
1	10/15 (月)	東京(羽田)発 ミュンヘン着	午後 夕刻	航空機 専用車	空路、ミュンヘン国際空港へ 着後、ホテルへ  【ミュンヘン空港付近泊】	朝× 昼機 夕機
2	10/16 (火)	ミュンヘン滞	午前 午後 午後	専用車	■公立サント・ニコラウス幼稚園の園庭ピオトープを見学 ■テレジア・ゲルハルディング幼稚園の園庭ピオトープを見学 ミュンヘン市内自由見学 【ミュンヘン泊】	朝○ 昼○ 夕×
3	10/17 (水)	ミュンヘン滞  ミュンヘン発 エグルフィング着 エグルフィング発 ムルナウ着	午前 午後 午後 午後 夕刻 夕刻	専用車	■バイエルン州労働社会家庭統合省・幼年期教育研究所にて座学 ■自然の子サント・ゲオルグ保育所幼稚園の園庭ピオトープを見学 陸路、エグルフィングへ ■エグルフィング自然体験の遊び場を見学 陸路、ムルナウへ 【ムルナウ泊】	朝○ 昼○ 夕×
4	10/18 (木)	ムルナウ発 オーバーアマガウ着 オーバーアマガウ発 リンダーホーフ着 リンダーホーフ発 ムルナウ着	午前 午前 午後 午後 夕刻	専用車	陸路、オーバーアマガウへ ■オーバーアマガウ森の幼稚園を見学 陸路、リンダーホーフ城へ リンダーホーフ城、エッタール修道院を見学 陸路、ムルナウへ 【ムルナウ泊】	朝○ 昼○ 夕×
5	10/19 (金)	ムルナウ発 テガンゼー着 テガンゼー発 ミュンヘン近郊着 ミュンヘン近郊発 アウグスブルク着	午前 午前 午前 午後 午後 夕刻	専用車	陸路、テガンゼーへ ■サント・クイリヌス保育所幼稚園の園庭ピオトープを見学 陸路、ミュンヘン近郊へ ■シュヴァネック城自然体験センターを見学 陸路、アウグスブルクへ 【アウグスブルク泊】	朝○ 昼○ 夕×
6	10/20 (土)	アウグスブルク滞 アウグスブルク発 ミュンヘン発	午前 午後 午後	専用車 航空機	アウグスブルク市内自由見学 陸路、ミュンヘン国際空港へ 空路、直行便にて、帰国の途へ 【機内泊】	朝○ 昼× 夕機
7	10/21 (日)	東京(羽田)着	午前			朝機 昼× 夕×

時間帯目安: 午前 08:00-12:00 午後 12:00-17:00 夕刻 17:00-19:00 食事略号: 朝:朝食、昼:昼食、夕:夕食、機:機内食

## 主な訪問都市

自然とのふれあいを大切にする園づくりツアー2018 では、紅葉の季節のバイエルンを巡り、持続可能な社会のための人づくりとしてドイツが力を入れている、乳幼児期からの自然とのふれあいの取り組みをご紹介します。



**ミュンヘン**は、人口約 135 万人の南ドイツ最大の都市です。安定した経済を基盤としてインフラが充実しているうえ、治安もよく、住みやすい都市として人気があります。ヴィッテルスバッハ家の宮廷都市として栄え、千年近い歴史を誇るミュンヘンは、ヨーロッパ文化の中心都市のひとつと称されています。黄金のマリア柱像が輝くマリエン広場周辺は、仕掛け時計が時を告げる新市庁舎、ゴシック建築の建物内におもちゃ博物館がある旧市庁舎、玉ねぎ型の屋根が印象的なフラウエン教会、旧市街全体が一望できる聖ペーター教会、国立歌劇場など、歴史的建造物の宝庫です。ミュンヘンは、世界最大のビールの祭典「オクトーバーフェスト」でも知られています。市内各所にあるビール醸造所やビアホールを目当てに毎年 600 万人が訪れます。

そのひとつビアホール・ホーフブロイハウスは、ビール好きでなくとも一度は立ち寄りたいた有名なスポットです。1589年に宮廷のための醸造所として建てられたこの店は、年間を通じてオクトーバーフェストのように賑やかで、ミュンヘン気分が誰かが浸れる場所と言えます。

**ムルナウ**は、ミュンヘンの南約 65km にある山あいの町です。美しいアルプスの山々を背景に色とりどりの家並みが続く目抜き通りには、おもちゃ屋さんや書店などもあります。ムルナウは「画家たちに愛された町」としても知られ、カンディンスキーやミュンター、ヤウレンスキーなど多くの画家がここで暮らし、いくつものすばらしい作品を残しました。町の近くにはシュタッフェル湖や、自然保護区にもなっているムルナウア湿原が広がっています。美しい景色のなか、遊歩道に沿って散策を楽しむこともできます。



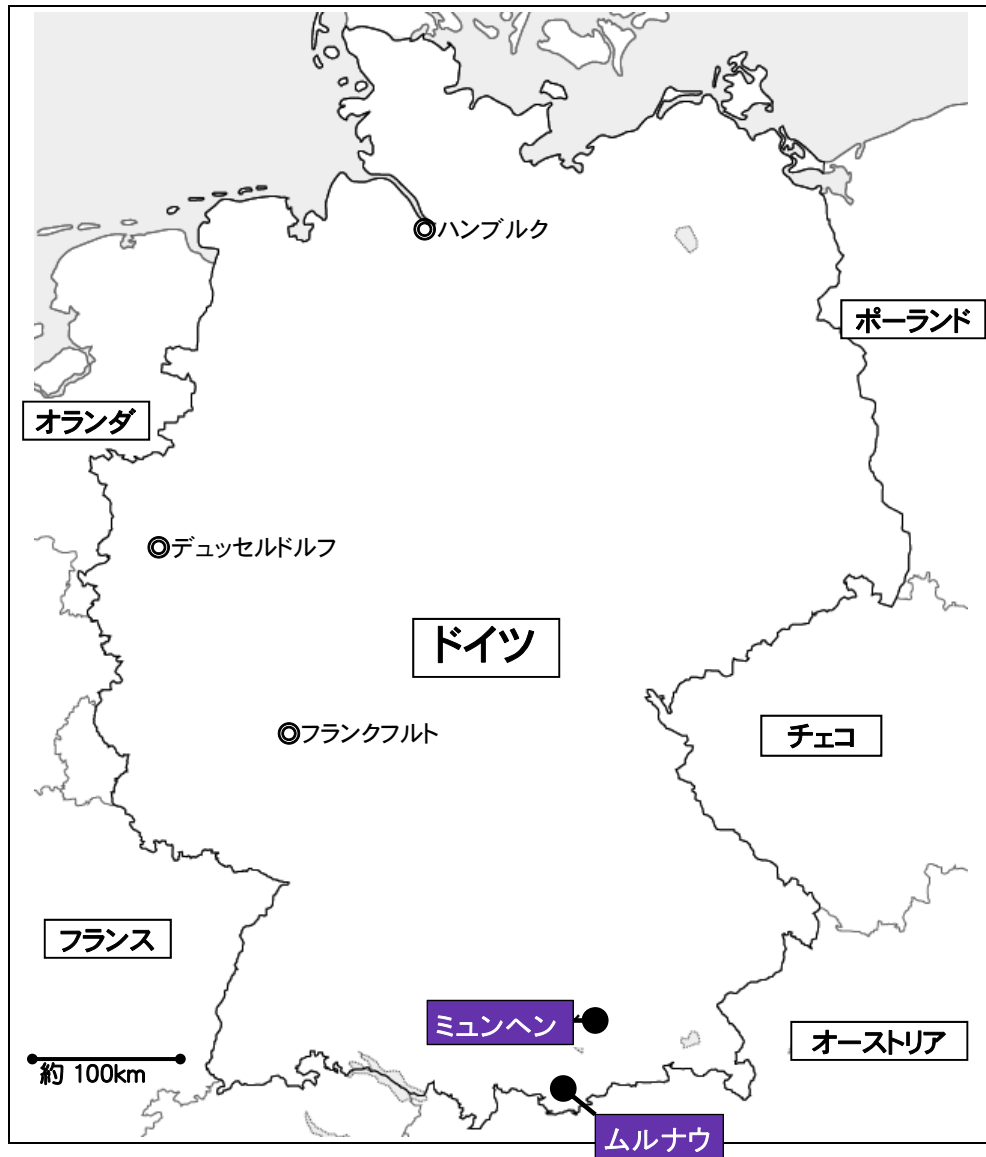
ムルナウにも、レストランが併設されているビール醸造所が複数あります。なかには、南ドイツ独特のかわいらしい民族衣装を着た店員がいるところもあり、華やいだ雰囲気のなかでビールや豚肉料理が楽しめます。

ムルナウの南西約 30km の位置にある**リンダーホーフ城**は、メルヘン王ルートヴィヒ 2 世が建てた 3 つの城のうち、唯一完成し、彼が長期滞在中のお城として有名です。フランスのルイ王朝を崇拝していたルートヴィヒは、ヴェルサイユ宮殿を手本に、ルネサンス様式にバロック様式を加えたオリジナルの建築様式を用いました。



1874 年から 4 年の歳月をかけて建造した城内には、絢爛豪華なロココ調の装飾をはじめ、神話などをモチーフにした絵画、マイセン特注のシャンデリアなど、贅を尽くした調度品が残っています。また、庭園には、1867 年のパリ万博に出品されたキオスクがあります。見所は、当時の最新技術を駆使して造られたヴィーナスの洞窟で、ルートヴィヒは洞窟内に金色の貝の船を浮かべ、夜な夜な夢の世界に浸っていたと言われています。

## 滞在地の位置



視察企画・協力

公益財団法人  
日本生態系協会

171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル  
TEL 03-5951-0244 FAX 03-5951-2974 <http://www.ecosys.or.jp/>